

平成29年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地理歴史	日本史総合	普通科・第3学年・文系	4
準教科書 副教材等	[主たる教材] 『詳説日本史』(山川出版社) 『詳説世界史』(山川出版社) [副教材] 『新詳日本史』(浜島書店) 『グローバルワイド最新世界史図表』(第一学習社)		

1 科目の目標

我が国の近現代史の展開を、世界の歴史と関連付けて世界史的視野から総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 近代以降における歴史の流れを大局的に把握できるように留意し、歴史的考察力を身につけさせる学習。
- (2) 2年次に履修した前近代史の発展的な内容の学習。
- (3) 適切なテーマによる課題学習。

3 授業計画

月	内 容	配当時間	指 導 上 の 留 意 点
4月 5月	○開国と幕末の動乱 ・アヘン戦争に至るまでのイギリス帝国主義政策について ・世界システム論における覇権国家の推移について ・アヘン戦争が幕府政治に与えた影響について ・ペリーの日本来航に至るアメリカ近代史について ・諸外国との通商と南北戦争の関係について 1学期中間考査	18	近代国家の形成と社会の特色について、国際環境と関連付けて世界史的視野から考察させる。
5月 6月	○明治維新と富国強兵 ・岩倉使節団の回覧した国々の状況と近代日本に与えた影響について ・琉球処分を世界史的視点からとらえる ・日朝修好条規を世界史的視点からとらえる ・ロシアの帝国主義政策とロシアとの国境問題(日露和親条約、樺太・千島交換条約)について 1学期期末考査	26	
7月 9月 10月	○立憲国家の成立と日清戦争、日露戦争と国際関係、 ・大日本帝国憲法の成立とヨーロッパからの影響について ・日清戦争の世界史的意義について ・中国分割に至る列強各国の帝国主義政策について ・日露戦争の世界史的意義について 2学期中間考査	36	

10月 11月 12月	○第一次世界大戦、戦間期、第二次世界大戦 ・第一次世界大戦における日本の参戦について ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について ・世界恐慌と各国の対応策について ・満州事変と国際的孤立について ・日中戦争と第二次世界大戦について 2学期期末考査	36	
12月 1月 2月 3月	○占領下の日本、高度経済成長の時代、激動する世界と日本 ・敗戦国における占領政策について ・冷戦の開始と日本における占領政策の転換について ・高度経済成長とニクソン=ショック ・冷戦の終結と内戦の開始 学年末考査	24	現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。

計 140時間 (55分授業)

4 学習評価

評価の観点・規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	授業に積極的に参加しているか。また、歴史を意欲的に自ら学ぶことができる。	日本史の授業で学習したことをもとに、現代社会の諸問題を多角的に考察することができたか。また、世界史的視野から日本史を考察することができる。	図表・資料などの視聴覚教材を活用し、歴史に対する理解を深めることができる。	日本史を理解するために必要な基礎的な知識を身につける。
評価方法	・学習活動への参加意識 ・討論や発表への参加状況 ・提出物の取組状況	・定期考査 ・質問に対する発言や反応	・定期考査 ・質問に対する発言や反応	・定期考査 ・授業中の小テスト

5 担当教員 地歴科教諭

6 担当者からのメッセージ

「歴史は繰り返す」という言葉があります。現在起こっている社会事象と似たようなことが、過去の歴史においても展開されています。日本史を学ぶことにより、現代社会の諸問題を鋭く考察する力を養ってほしいと思います。